

平成20年度 学術情報リテラシー教育担当者研修  
大阪会場（10.22）・東京会場（11.19）

---

# コンサルテーションとして攻める 学術情報リテラシー教育

（財）大学コンソーシアム京都（同志社大学所属）  
同志社大学嘱託講師・「学術情報利用教育論」担当

井 上 真 琴

---



# 本日の内容

---

- ・同志社大学図書館の情報リテラシー教育紹介
  - ・背景となる教育・学習環境の変化
  - ・情報リテラシー教育の再検討と改善策
    - 1) 運営方法の工夫
    - 2) 教学との連携
    - 3) プログラム内容
- 



# 学術情報リテラシーを教える難しさ

---

## 学術情報リテラシー

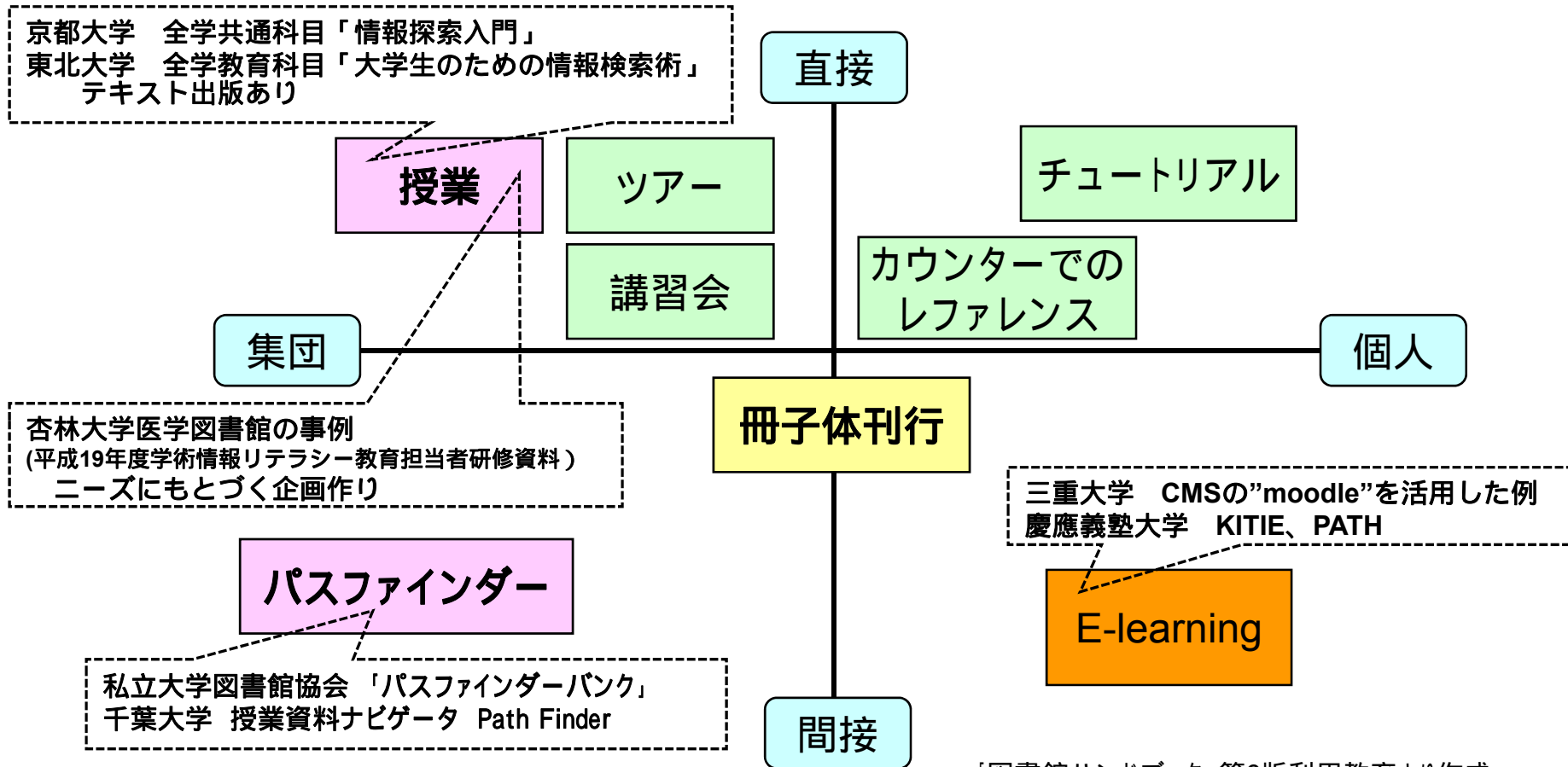
1. 「学術情報」を使うことに焦点があるのか？
2. 情報の「学術的な」使い方に焦点があるのか？

方法が使うべき資料を決め、資料がとるべき方法を決める。

- ▶ 『国史大辞典』か『牧野伸顕日記』のどちらが正しい？
- ▶ ウィキペディアの記述は信頼できる？
- ▶ 岐阜市立短期大学の1983年の学費は？

# 学術情報リテラシー教育のいろいろ

平成19年度 大学図書館職員短期研修  
「学術情報リテラシー教育入門」資料より引用



「図書館ハンドブック」第6版利用教育より作成

# 全国大学での実施状況

情報リテラシー教育の有無 73.4%あり

1. 正課授業 : 教員と図書館員の関わり方
  - 1) 「科目関連型」: 一部に図書館が協力
  - 2) 「科目統合型」: 全部に図書館が協力
  - 3) 「独立型」: “情報リテラシー” に特化した科目に協力
2. 課外講習 : 図書館実施の情報リテラシー教育
  - 1) 「図書館オリエンテーション」
  - 2) 「データベース利用教育」
  - 3) 「教育支援・レポート作成支援」

参考: 筑波大学編, 『今後の「大学像」の在り方に関する調査研究  
(図書館)報告書』, 2007.3

# 同志社大学図書館でのこれまでの経緯

同志社大学教育開発センター・2007/12/3 教育効果向上部会メモ

実施年代	実施プログラム	対象者	評価
2000年頃 まで	新入生向けガイダンス	新入生 (両校地)	・京田辺と今出川(夜間主)の新入生に開催。
2001年頃 から	新入生向けガイダンス + 各種データベース講習会	全学生	・DBベンダーからの講師派遣。 個別データベースから総合的な探索法の支援が課題となる。
2006年度	初年次教育との連携を意識 情報探索技術の体系化 入門編:「役立つ図書館活用術」 初級編:「雑誌記事・論文の探し方」 中級編:「レポート・テーマ探索の術」 上級編:レファレンスサービスで対応	全学生	・体系化してスキルを俯瞰 ・外部委託可能なプログラムのプロトタイプ作成
2007年度	トライアルの実施 プログラムの調整	全学生	・基本プログラムの試行

同志社大学図書館の情報リテラシー教育紹介

# プログラム体系と内容の“見える化”

---

「同志社大学総合情報センター報」32号で特集

“図書館の利用講習会 **情報探索の技** に参加しよう！”

- ▶ P.1-3 : プログラムの基本的な考え方
- ▶ P.4-5 : 情報探索の流れと講習会プログラム  
起点として今後改訂を重ねる予定

「つねに普請中！」

# 講習会プログラム「情報探索の技」の体系

	企画・構成 仕様確定	講師
入門(1コース) 役立つ図書館活用術	図書館スタッフ	委託 図書館スタッフ
初級編(4コース) 30分でわかる	図書館スタッフ	図書館スタッフ
中級編(3コース) 90分でバッチリ	図書館スタッフ	図書館スタッフ
中級編(4コース) プロが教える	委託 (1コース共同企画)	委託

印象付け

操作の道筋

思考の  
道筋



# 新しい教育方法で生き残り

---

本学の近年の焦点(特色GP / 現代GP→教育GP)  
初年次教育(導入教育) / 入学事前教育 / PBL教育



**教育・学習環境の変化**

**図書館の存在感を示すチャンス到来！**

『今後の「大学像」の在り方に関する調査研究(図書館)  
報告書：教育と情報の基盤としての図書館』(2007)

[http://www.kc.tsukuba.ac.jp/div-comm/spons\\_report/future-library.pdf](http://www.kc.tsukuba.ac.jp/div-comm/spons_report/future-library.pdf)(参照2007-6-30)

---

▶ . 背景となる教育・学習環境の変化

# 図書館の喫緊の課題

---

## 教育との結びつきの希薄さ

- ▶ 教育手法の問題 / 情報リテラシーを備えるべき、主体的な問題解決型の学習がない。
- ▶ 図書館がどのように、学生の学習成果の実現に寄与できるのか。

文科省ヒアリングでの永田治樹先生のご指摘(2005.2.15)

「 . 学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について」(科学技術・学術審議会 2006.3.23)

---

▶ . 背景となる教育・学習環境の変化

## (初年次教育 / 入学事前教育 / プロジェクト科目の例)

---

### 特色GP:

「学生と教員の幸せな出会いを目指す導入教育」

- ▶ 入学事前教育によるモチベーション喚起
- ▶ 課題レポート作成と今後の学習プランを理解
- ▶ 初年次教育(導入教育)との接合

### 現代GP:

「プロジェクト主義教育による人材育成」

- ▶ Project Based Learning
- ▶ 3Cを重視した教育  
Communication, Collaboration, Community

# 問題点の洗い出し

---

- ▶ 物理的な人員不足

  - 外部委託スタッフを併用した実施のプロトタイプ

- ▶ 図書館スキル+ $\alpha$ (外部研究機関スキルの取り込み)

  - 日本能率協会、政府資料等普及調査会、検索エンジンカンパニーとのプログラムの協同検討、実施

- ▶ 教員の個別オーダーへの対応能力不足

  - 汎用的なプログラム内容でユニット化(例題変更は可能)

- ▶ プログラム内容の判断材料提示

  - プログラムの体系化(スキル要件との関連)して、プログラム群を俯瞰できるものを作成

---

- ▶ . 情報リテラシー教育の再検討と改善策

コンサルテーションとして攻める  
学術情報リテラシー

同志社大学の教育  
体系に応じた  
学術情報リテラシー教育  
プログラム

どうすれば円滑な実施ができるのか？

運営方法の工夫

本当に教育との連携できているのか？

教学との連携の接点

「何が」できるようになればよいのか？

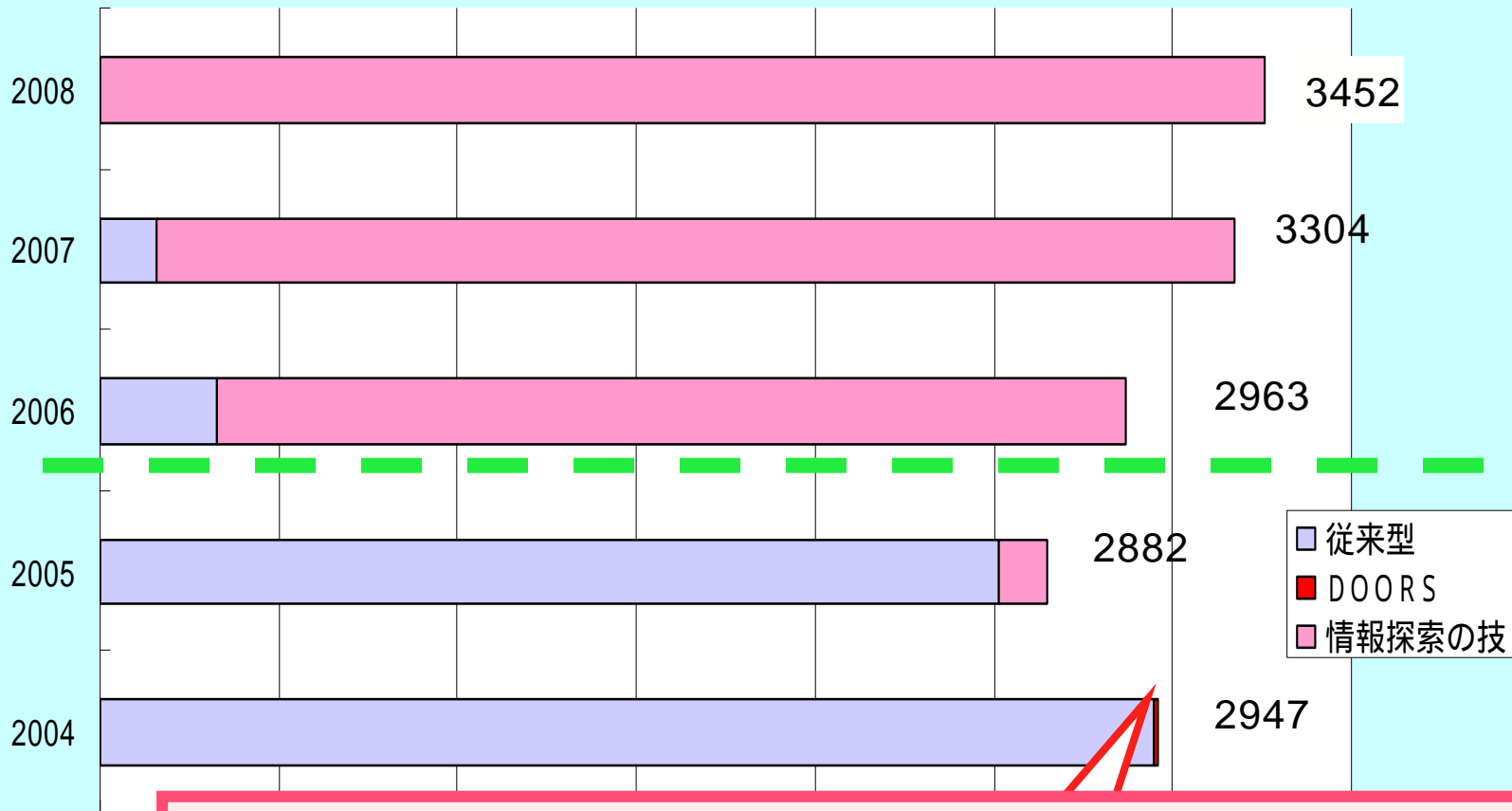
プログラム内容の再検討



情報リテラシー教育の再検討と改善策

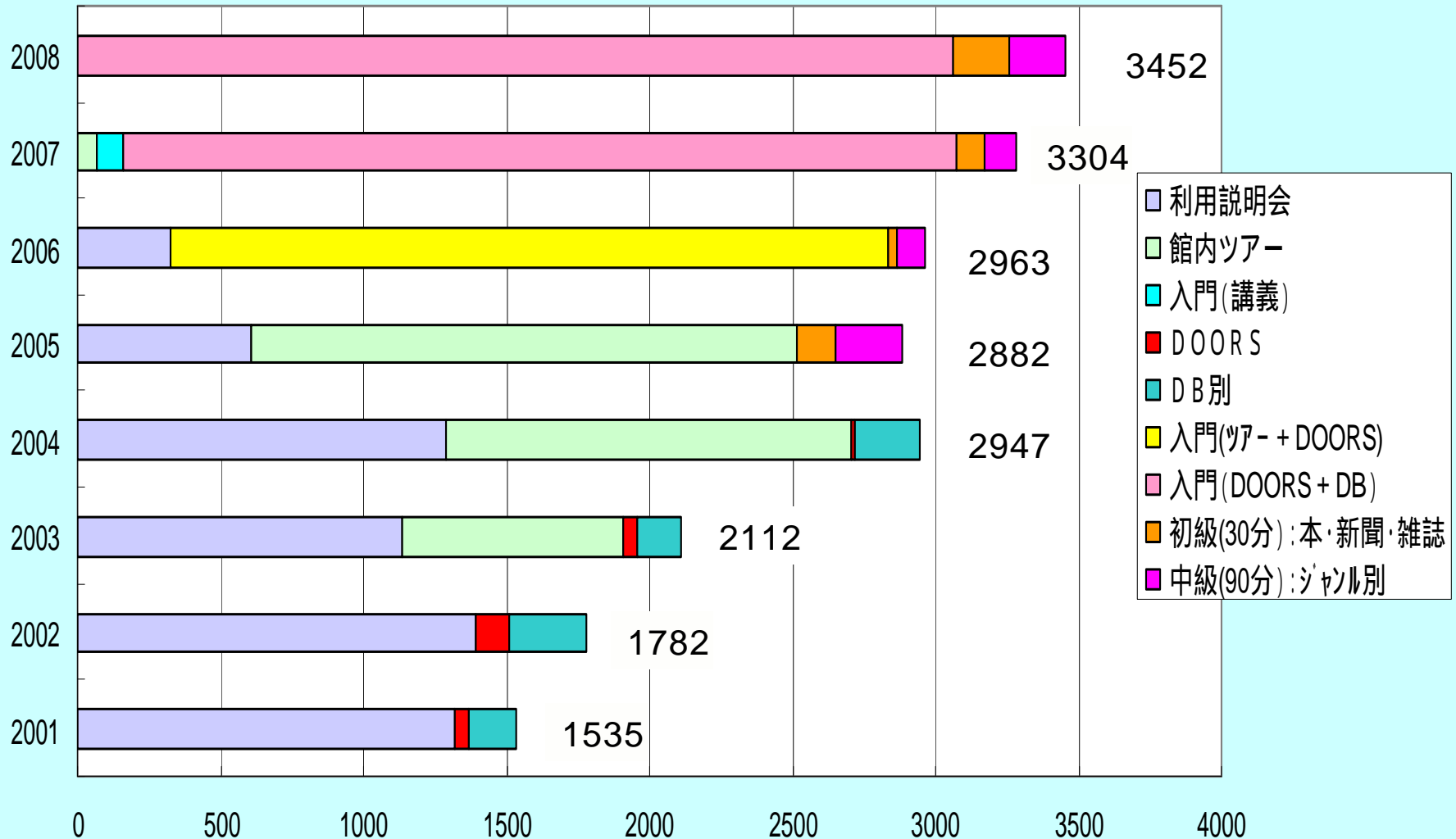
# 図書館主催講習会

# データベース+OPAC実習状況



**1年生の63%が実習**

# 図書館主催講習会 参加者数 推移 (京田辺)



# 講習会開催回数内訳

		2007			2008		
講習会開催内訳(春学期)		回数	外注	課内	回数	外注	課内
入門編	一般	67	51	16	66	62	4
	法学部編	7	4	3	設定なし		
	教育学編	1	0	1			
	館内ツアーのみ	2	0	2			
初級編	本の探し方	4	0	4	7		7
	雑誌記事の探し方	4	0	4	10		10
	新聞記事の探し方	3	0	3	7		7
	百科事典活用法	設定なし			5		5
中級編	判例の探し方	2	0	2	1	0	1
	外国語文献の探し方	5	0	5	2	0	2
	科学技術文献の探し方	3	0	3	1	0	1
	レポートテーマ探索の術	2	2	0	2	2	0
	ウェブ情報の効果的利用法	設定なし			1	1	0
	政策統計・経営資料の集め方				1	1	0
	政府資料の探し方				1	1	0
	日経テレコン21の使い方				1	1	0
JDREAM の使い方	1				1	0	
開催回数合計		100	57	43	106	69	37
受講者数合計		3,304			3,452		



# 教員との対話で明らかになってくること

---

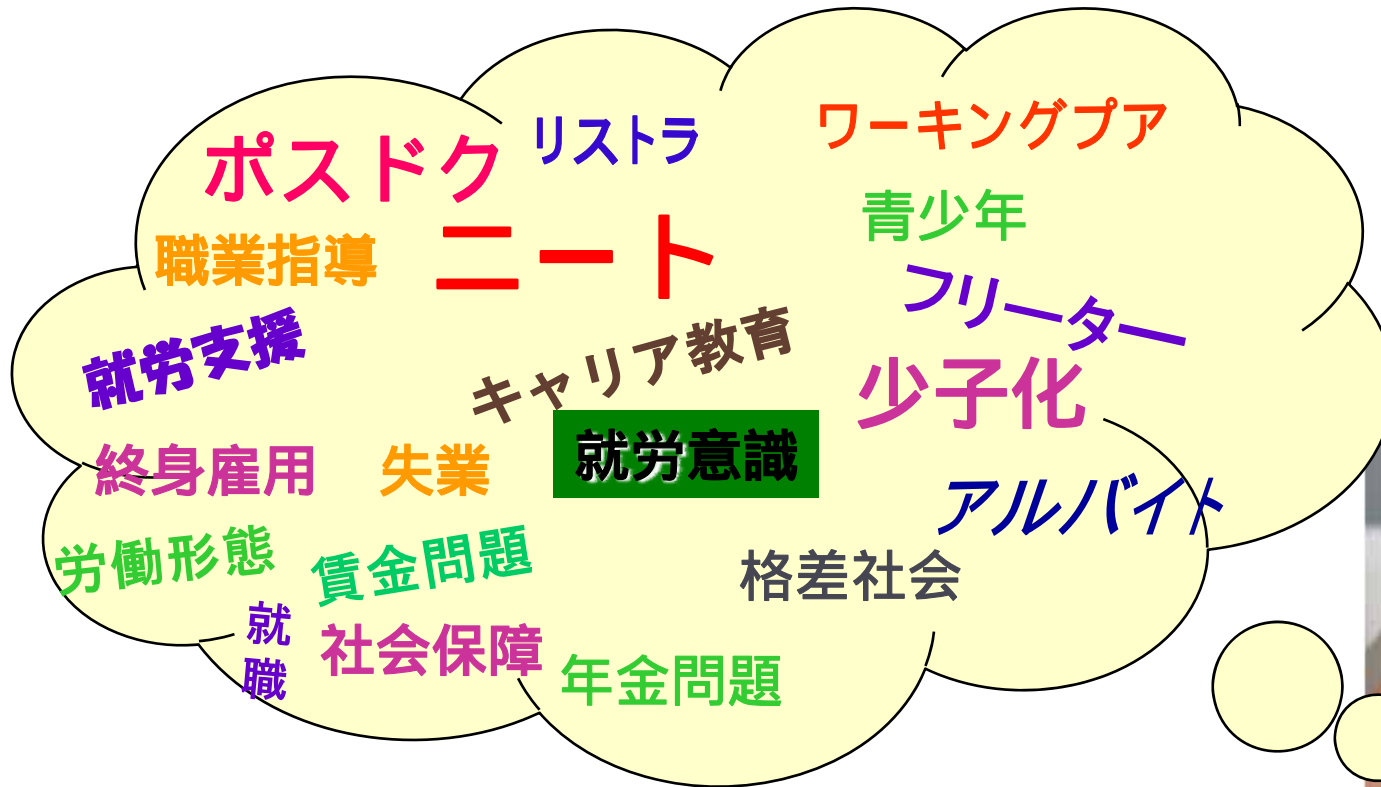
## 同志社大学教育開発センター(教育効果向上部会)

- ▶ 1年次図書館ガイダンス等の開催「量」は認知されている。  
しかし、3年次以降の教育課程に効力なし。
  - ▶ プログラム内容の質の向上
  - ▶ 学部カリキュラムの編成に問題ありと教員が自認
- ▶ 講習会案内は2 - 3月、科目シラバスは12月に記述。  
有意義な組み込みができない
  - ▶ リテラシー教育プログラム体系の提示
  - ▶ コンサルテーションの実施

# カウンタ - での利用コンサルテーション

ニートについて調べることになったら？

チャンネルは多数ある・・・しかし・・・



# レファレンスで掘り起こすニーズ

---

レファレンス能力が弱いと情報リテラシー教育力も弱い。

資料や情報を探すより、テーマを見つける方が先。

(問題解決 / 問題発見)

図書館を介さず利用できる外部情報の取込みスキル。

- ▶ 編集物への理解不足
- ▶ 事前調査なしの安易な(卒論・レポートの)テーマ設定
- ▶ ウェブ検索上の問題
- ▶ 何がよい情報源なのか
  - 例) 道路特定財源の一般財源化・・・

# 焦点をどこにおくか？

スキルの種別	印刷体資料	電子化資料 (データベース/フリーサイト)
1.情報源を知る (何があるのか)	<ul style="list-style-type: none"><li>・『日本の参考図書』等のガイドブック</li><li>・各種主題別紹介資料</li><li>・書誌・目録</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・OPACの存在</li><li>・ポータル参照</li><li>・パスファインダー参照</li></ul>
2.情報源の使い方を知る (どう使うのか)	<ul style="list-style-type: none"><li>・凡例読解</li><li>・編集方針/編集形態</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・検索方法/検索スキル</li><li>・インデクシング方法</li><li>・各種演算子</li></ul>
3.総合化した情報源利用 (なぜ使うのか、どう組み合わせるのか)	<b>調べ方の「考え方」：メタ思考</b>	

フロが教える

情報探索の技 **中級**

# レポートテーマ探索の術



悩んでいるひと、  
講習会  
に集まれ!

## 資料を探す方法や 考え方の道筋を 伝授!

日時: **11月12日(月)3・4講時** 1回90分です

会場: ラーネッド記念図書館 1階 第二読書室 (京田辺校地)

講師: (株) 紀伊国屋書店 ライブラリーサービス部

定員: 各40名(申込順) 対象: 本学学生・教職員

お申込み・お問い合わせ: 両校地図書館カウンターへ

同志社大学総合情報センター・情報サービス課  
TEL:0774-65-7240 FAX:0774-65-7249  
E-Mail: [jt-servi@mail.doshisha.ac.jp](mailto:jt-servi@mail.doshisha.ac.jp)

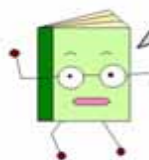
フロが教える

情報探索の技

秘  
伝

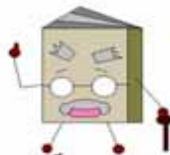
# 卒論テーマ 探索の術

## 資料を探す方法・考え方の道筋を伝授!



「卒論のテーマ、どうしよう・・・?」

論文を書くには、独自の論点を導き出すことが大切です。  
それにはまず、背景や今までの研究成果を調べ上げ、知識を  
得ておく必要があります。  
基本となる情報を読み込み、そこからテーマを固めていく  
プロセスを、情報探索のプロがレクチャーします!



場所: 同志社大学 今出川校地 寧静館・地下3番教室

日時: 11月17日(金) 5講時 16:45~18:15

講師: (株) 紀伊国屋書店 ライブラリーサービス部

定員: 50名(先着順)

対象: 本学教職員・学生

申込みは、両校地図書館カウンターまで!

お問合せ先: 同志社大学総合情報センター・情報サービス課  
TEL:075-251-3980 FAX:075-251-3058  
E-Mail: [ji-servi@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-servi@mail.doshisha.ac.jp)

プロが教える

情報探索の技

# 政策・統計・経営情報の集め方

住宅の種類別に、購入者の所得や世帯人数を調べたい!

女性の雇用状況の推移が知りたい。

こんな情報、どこにあるんだろう・・・???

大学生の化粧品購入に対する意識を知りたい。

日本の「屋根」の総面積は?

と、お悩みのあなたへ!

ビジネスを成功させるには、世の中の動きや需要をつかむことが必要です。研究も、自分の論点を確実なものにするデータを押さえることが成功の秘訣です。官庁統計やシンクタンクの研究データ、企業情報などのありかを嗅ぎ分ける技を、統計・経営情報のプロが解説します。

場所：同志社大学 今出川校地 寧静館23教室  
日時：11月7日（火） 5講時 16:45~18:15  
11月15日（水） 5講時 16:45~18:15  
講師：(株)日本能率協会 マーケティング・データ・バンク  
定員：50名（先着順）  
対象：本学教職員・学生



申込みは、両校地図書館カウンターまで!

お問合せ先：同志社大学総合情報センター・情報サービス課  
TEL:075-251-3980 FAX:075-251-3058  
E-Mail: ji-servi@mail.doshisha.ac.jp

プロが教える

情報探索の技

中級

# ウェブ情報の効果的利用法

検索エンジンをもっと上手く使いたい!

自分は今、ウェブ上のどこにいるのか?



と、困っていませんか?

爆発的に拡大を続けるインターネットの世界で、必要な情報をどうすれば的確に入手できるでしょうか。この講習会では、卒論やレポート作成に役立つウェブ情報の効果的な利用法を、プロが解説します。

場所：同志社大学 今出川校地 弘風館・21 番教室  
日時：11月16日（金）  
5 講時：16:45~18:15



検索実習あり!

講師：岡本 真 氏 (Academic Resource Guide 編集長)  
定員：各40名（申込順） 対象：本学学生・教職員

申込みは、両校地図書館カウンターまで!

お問合せ先：同志社大学総合情報センター・情報サービス課  
TEL:075-251-3980 FAX:075-251-3058 E-Mail: ji-servi@mail.doshisha.ac.jp

# 2008年度 春学期の各講習会参加者数

## 今出川キャンパス

	4月	5月	6月	7月	合計
入門	94	31			125
Aコース	10				10
Bコース		12			12
A+Bコース	15				15
図書館利用+DB(ゼミ単位)	8	21	43		72
自由見学	10	30			40
初級(図書)				2	2
初級(雑誌記事)			24	4	28
初級(新聞記事)			2	7	9
初級(百科事典)				6	6
中級(政策・統計・経営資料)			42		42
中級(卒論テーマ探索の術)			47		47
中級(ウェブ情報の効果的活用法)			21		21
中級(政府資料)			18		18
Elsevier:ScienceDirect/ SCOPUS					
SpringerLink					
合計	137	94	197	19	429

## 京田辺キャンパス

	4月	5月	6月	7月	合計
入門	1498	1466	98		3062
初級(図書)		46			46
初級(雑誌論文)		65	15		80
初級(新聞記事)		53			53
初級(百科辞典)		15			15
中級(外国語文献)			4		4
中級(科学技術文献)			30		30
中級(判例の探し方)			2		2
中級(レポートテーマ探索の術)			28		28
中級(政策・統計・経営資料)			20		20
中級(ウェブ情報の効果的活用法)			54		54
中級(政府資料)			23		23
データベース(日経テレコン21)				6	6
データベース(JDream)				29	29
Elsevier:ScienceDirect/ SCOPUS					
SpringerLink					
合計	1498	1645	274	35	3452

# 今後の課題

---

- 1 . (Academic) Discipline-oriented Skill +
  - ▶ 「**学術情報**」と情報の「**学術的な**」利用の精査
  - ▶ **図書館以外の領域のスキルの融合(外部の文脈)**
- 2 . **図書館を活用した授業改善FDプログラムの開発**
  - ▶ **図書館の役割を理解できる教員づくり**
- 3 . **広報・発信ルートの工夫と開拓**
  - ▶ **ICT(教育用SNSシステム等)の活用**